



中期標準化戦略 (概要と目的)

企画戦略委員	神保 光子 (NEC)
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	委員長: 山本 秀樹 (OKI) / 副委員長: 長尾 滋郎 (NTT)
活動の目的・意義	<p>総務省より2020年5月に公表された「海外展開行動計画2020」では、「新興国を中心とした世界の膨大なインフラ需要への対応」、「SDGs等世界規模での社会課題解決への取組み」の重要性が謳われており、日本企業が有する技術の海外展開を推進することを重要な政策課題としている。その具体的な活動の1つとして「デジタル海外展開プラットフォーム(JPD3)」が設置され、官民一体となり、日本のデジタル技術を活用した海外展開の挑戦を進めている。</p> <p>また、標準化の観点では、世界的なトレンドとして標準をビジネスにつなげていくため、従来の性能・機能・方式の標準でなく、社会課題を解決するシステム・サービス・ソリューション丸ごとの標準が求められている状況にあり、日本企業がグローバルビジネスを展開する上で、これを踏まえた戦略が必要である。</p> <p>このような認識の基に、①アジア新興国の社会課題を解決するICTソリューション実証実験結果をICT分野別に体系化し、②実施ノウハウを共有化する導入ガイドライン(ソリューション利用標準)を策定し、③推進に必要な連携構築や、ビジネス展開につながるプロモーション活動等を持続的に推進する。</p>
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	委員増 / 日本製品が絡む新規プロジェクトの創出 / 国外パートナー・人脈の維持、開拓
関連のSDGsゴール	
標準化方針	<p>[アップストリーム活動]</p> <p>・ソリューション利用標準であるASTAP文書 (APT Report) の「ICTソリューションハンドブック」を、各国の要望を盛り込みながら改訂提案を継続する。</p> <p>[TTCドキュメント制定]</p> <p>・上記「ICTソリューションハンドブック」はTTC技術レポート(TR)として文書化し、新興国ビジネス開拓に向けた利用標準として活用する。</p>
国内外の標準化団体等の動向	<ul style="list-style-type: none"> 世界電気通信標準化会議 (WTSA-12) において、Resolution 44 “Bridging the standardization gap between developing and developed countries” の改訂が議論され、ITU-T各SGに対して途上国が置かれた特有な状況に配慮して標準化を適切に進めるよう指示することが新たに盛り込まれた。 WTSA-20 (2022年3月) でも本決議の継続が決定された。 WTSA-24 (2024年10月) でも本決議の継続が想定される。

専門委員会・AG名	BSG専門委員会	1/3
登録委員数	4	
図解		
<div style="text-align: center;">  <p>SHARE solution model through Broadband Network</p> <p>SHARE Success & Happiness by Activating Regional Economy</p> <p>Local Community KnowledgeCenter University</p> <p>Sensor Network Experts for - Health - Agriculture - Education - Environment</p> <p>Usability -Simple -enjoyable -fancied by children Knowledge Solution R&D center Language Grid</p> <p>Proprietary Information of TTC, Promotion Committee and Projects TTC Telecommunication Technology Committee</p> </div>		
用語		
<p>1: ASTAP: Asia-Pacific Telecommunity Standardization Program Forum</p> <p>2: EG BSG: Expert Group on Bridging the Standardization Gap</p> <p>3: SHAREミーティング: “Success & Happiness by Activating Regional Economy” を合言葉にしたアジア各国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム)の通信主管庁・大学関係者等との連絡会組織。各国にて農業・水産業・教育・医療・環境等に関するICTソリューション導入パイロットプロジェクト等を実施</p>		

中期標準化戦略（2023年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名

BSG専門委員会

2/3

<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<p>① 日本のICT技術の新興国普及のため、ASTAPで、APTレポート「ICTソリューションハンドブック」の改定を継続。改定内容はTTC技術レポートに反映 ② 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットフォームをマレーシアと連携して維持管理異業種間データを組合せた新産業創生に向け、新興国の若手研究者によるコンペ(アイデアソン)の開催検討 ③ 過去のパイロットプロジェクトも含め安定的に正確な現地データを取得するため、フィリピン、インドネシア等と連携して、持続可能なIoTシステムを検討継続 ④ 産学官連携プロジェクトを利用して、日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークスホルダー育成の推進を継続 ⑤ アジアで共通的に取り組むべき社会課題の解決に向けた新たなICTソリューションの検討と推進</p>
---------------------------------------	---

<p>関連する専門委員会または外部組織と内容</p>	<p>新規プロジェクトの内容により、個別に相談する。</p>
----------------------------	--------------------------------

主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<p>1件 ・ASTAP EG BSG(2023年4月予定) - ICTソリューションハンドブック改定提案</p>	<p>1件 ・ASTAP-35 EG BSG (2023年4月) ICTソリューションハンドブック第5版制定</p>	
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>a. ASTAP: 1回 (2023年4月予定) b. SHAREミーティング: 1回 c. 他国標準化団体との合同ワークショップ (マレーシアMTSFB、タイNBTC等) d. アイデアソン開催</p>	<p>a. ASTAP-35(2023年4月) b. SHAREミーティング-19 東京・北九州市にて開催(2023年10月) c1. マレーシアMTSFBとセミナー開催(2023年10月) c2. カセサート大学(タイ)、UNIMAS大学(マレーシア)と農村コミュニティとの国際ワークショップ開催(タイにて 2023年9月) e1. APT研修実施 - Workshop for bridging the gender gap and training mobile solution architects for local issues e2. APTオンライン研修実施 - Training Experts and Foster Managements in Standardization of ASTAP and related Organization f. APTプロジェクト提案(マレーシアの医療プロジェクト第2段階)実施。ほぼ採択。</p>	<p>・項目e1,e2は重点取組⑤を人材育成の課題解決まで拡張解釈し実施。 ・項目fは、重点取組①につながる活動。</p>
<p>1,e</p>	<p>JJ標準</p>	<p>0件</p>	<p>0件</p>	
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定</p>	<p>0件/1件/0件 ・TR-1058 第5版 2024/3/1 ミャンマーでの新たなケーススタディ ”e-Healthcare for end epidemic of Tuberculosis in Myanmar” を追加</p>	
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>TS制定: 0件 TR制定: 0件</p>	<p>TS制定: 0件 TR制定: 0件</p>	
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>・TTCセミナー 2回</p>	<p>セミナー 1回 - 2023/10/16 TTCオンラインセミナー「スマート農業の最新技術と国際標準化動向」</p>	
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>・TTCLレポート記事: イベント毎に報告</p>	<p>TTCLレポート記事 3件 ASTAP報告/MTSFBとのMOU締結/SHARE MEETING</p>	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動予定）

専門委員会・AG名

BSG専門委員会

3/3

<p>新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 農業・観光・健康管理などの地域課題を解決するICTソリューションを提案することを目的とするアイデアソンを実施 ② 産学官連携プロジェクトを利用した日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークスホルダー育成の推進 ③ 産学官連携プロジェクト成果によるAPTレポート「ICTソリューションハンドブック」の改定を継続。改定内容はTTC技術レポートに反映 ④ 新興国の人々とICTエキスパートとの間の知識の橋渡しに焦点を当てたケーススタディのワークショップ・研修を開催 ⑤ 日本も含めたアジア太平洋地域の標準化人材育成のためのワークショップ・研修を開催 ⑥ 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットフォームを維持管理(マレーシアと連携)、新IoTシステム検討
--	---

<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<p>- 関連専門委員会: 新規プロジェクトの内容により、個別に相談 - 外部組織: APT、マレーシアMTSFB、タイNBTC、SHAREメンバー --- 標準化提案・プロジェクト・ワークショップ・アイデアソンの検討・実施</p>
------------------------------	---

主な活動項目	概況指標	2024年度目標(当初計画時)	2024年度実施状況	記事
<p>① アップストリーム他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<p>1件 ・ASTAP EG BSG(2024年5月予定) - ICTソリューションハンドブック改定提案(マレーシアのケース追加)</p>		
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>① アイデアソン開催: 1回 ②-1. APTプロジェクト「マレーシアの医療プロジェクト第2段階」参画 ②-2. 新APTプロジェクト提案の検討 ③. ASTAP: 1回 (2024年5月予定) ④⑤. 研修またはワークショップ: 2回 ①~⑥. SHAREミーティング: 1回</p>		<p>項番は、重点取組の番号を示す</p>
<p>② ドキュメント作成 国内標準仕様書レポート</p>	<p>JJ標準</p>	<p>0件</p>		
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定 (マレーシアでのケース追加)</p>		
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>TS制定: 0件 TR制定: 0件</p>	<p>TS制定 TR制定:</p>	
<p>④ プロモーション普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>・TTCセミナー 1回</p>		
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>・TTCレポート記事: イベント毎に報告</p>		